

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-283155

(P2004-283155A)

(43) 公開日 平成16年10月14日(2004. 10. 14)

(51) Int.Cl.⁷

A01G 9/02

A01G 1/00

F I

A O 1 G 9/02

A O 1 G 9/02

A O 1 G 1/00

1 O 3 U

1 O 3 G

3 O 1 C

テーマコード (参考)

2 B O 2 2

2 B O 2 7

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2003-124547 (P2003-124547)

(22) 出願日 平成15年3月24日 (2003. 3. 24)

(71) 出願人 302000748

高野 良三

宮城県仙台市泉区南光台南3丁目13番3号

(72) 発明者 高野 良三

仙台市泉区南光台南3丁目13番3号

(72) 発明者 新田 朋治

仙台市泉区南光台南3丁目20番33号

Fターム(参考) 2B022 AB02 AB04 BA01 BA02 CA04

2B027 NC02 NC05 NC13 NC18 NC38

NC40 ND01 NE09 QA04 QB14

QC33 QD01 RD01

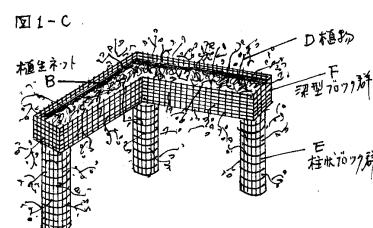
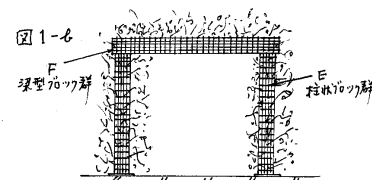
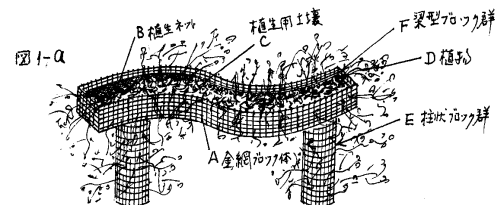
(54) 【発明の名称】 環境エクステリア緑化の金網ブロック工法

(57) 【要約】

【課題】中低層建築物の屋上緑化や、一般家屋の外構及び庭園のコーディネートを緑化環境で構成する環境エクステリア緑化の金網ブロック工法を提供する。

【解決手段】擁壁を含めた外構構成やガーデニングデザイン等の構成に、緑化金網ブロックで種々の造形美を生み出すもので、充填する植生用土壌Cに植物Dを植生する金網ブロック体Aの構成を、針金自体に強度を付与して特に補強縁を作らず、内張りする植生ネットBは補強の升目枠を必要としない厚み繊維シートとして工作を容易にし、金網ブロック体Aを異径円柱や多角柱状等の柱状ブロック群Eと、直線、曲線、平面、曲面を駆使した梁型ブロック群Fのランダムな組み合わせ形状とした造形ブロックを構成することにより、門柱、塀等の家屋外構、庭園のガーデニング等を含む環境エクステリアをデザイン化して緑化コーディネーションをすることを特徴とした

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金網を多面に接続して立体形状とした金網ブロック体 A と、当該金網ブロック体 A の内面に内張りした植生ネット B と、中に充填する植生用土壌 C とからなり、植生用土壌 C に植物 D を植生させて緑化する金網ブロックユニット化工法に於て、金網ブロック体 A の構成を、金網の線自体に強度を付与して特に補強縁及び独立柱を設けず、植生ネット B は補強の升目枠を必要としない厚み繊維シートとして工作容易にすると共に、金網ブロック体 A を円柱や多角柱状等の柱状ブロック群 E と、直線，曲線，平面，曲面を駆使した梁型ブロック群 F のランダムな組み合わせ形状とした造形ブロックを構成することにより、門柱，塀等の家屋外構，庭園のガーデニング等を含む環境エクステリアをデザイン化して緑化コーディニングをすることを特徴とする環境エクステリア緑化の金網ブロック工法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

中低層建築物の屋上緑化や、一般家屋の外構や構造物及び庭園のコーディニングを緑化環境で構成する環境エクステリア緑化の金網ブロック工法に関する。

【0002】

【従来技術】

近年、都市部に於て、空気の清浄化，ヒートアイランド効果などを図るため、建築物の屋上露出スラブ面を植生緑化するなど植物の植生区域を増やす構想が普及されつつあり、又、一般家屋の外構擁壁自体を植生緑化することも提案されている。

【0003】

金網ブロックにより建築物の屋上を緑化する工法については、従来提案されている。（例えば、特許文献 1 参照）

【特許文献 1】特許出願 2001-403063

【0004】

一般家屋の外構擁壁自体を植生緑化することも従来提案がある。（例えば、特許文献 2 参照）

【特許文献 2】特許出願 2002-167866

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

従来提案の特許文献 1 のものは、ユニット化した緑化金網ブロックを、ビル屋上の露出スラブ面に組み合わせて載置し、緑化金網ブロックに植栽するものであるが、格子状網目板は上下の縁を巻き曲げて補強縁とし、植生ネットは升目枠で補強するなど、立体形状の多種金網ブロックを多数製作するのに、工作に、手間と費用がかかり、従って、その金網ブロック形状の成形は、高さの低い円筒状か方形状にに限られがちとなり、自由なブロック形状のお気に入りの緑化空間が出来にくい問題点がある。

【0006】

特許文献 2 のものは、立体四角形の形状を主体とした金網ブロックを多数列設して家屋を囲む擁壁とし、金網ブロックに植物根を植え込み植生緑化して生け垣を兼ねる構成を目的とする擁壁の発明手段であって、擁壁外構を含めたガーデニング等の構成に、金網ブロックで種々のお気に入りの緑化空間を生み出すものではない。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明は、擁壁を含めた外構構成やガーデニングデザイン等の構成に、緑化金網ブロックで種々のお気に入りの緑化空間を生み出すもので、金網ブロック体 A と、当該金網ブロック体 A の内面に内張りした植生ネット B と、中に充填した植生用土壌 C に植物 D を植生緑化する金網ブロックユニット化工法に於て、金網ブロック体 A の金網の構成を、線自体に強度を付与して特に補強縁及び独立柱を設けず、植生ネット B は補強の升目枠を必要としない厚み繊維シートとして工作を容易にする。

10

20

30

40

50

【0008】

そして金網ブロック体を異径円柱やスパイラル柱状、多角柱状等の柱状ブロック群Eと、直線、曲線、平面、曲面を駆使した梁型ブロック群Fのランダムな組み合わせ形状とした進形ブロックを構成することにより、建物のつながりが街を形作る以上、道路が玄関へと続くアプローチ、各人好みで建てられた家々の個性を生かしながら街全体を調和の取れた統一感ある地域環境作りに役立つガーデニング等、門柱、塀等の家屋外構、庭園のガーデニング等を含む環境エクステリアをデザイン化して緑化コーディネートを行うことを特徴としたものである。

【0009】

【発明の実施の形態】

本発明は、植物を植生する柱状ブロック群Eと、直線、曲線、平面、曲面を駆使した梁型ブロック群Fのランダムな組み合わせ形状とした造形ブロックを構成することにより、建物のつながりが街を形作る以上、道路が玄関へと続くアプローチ、各人好みで建てられた家々の個性を生かしながら街全体を調和の取れた統一感ある地域環境作りに役立つガーデニング等、門柱、囲い塀等の家屋外構、庭園のガーデニング等を含む環境エクステリアを緑化空間としてデザイン化コーディネートをする金網ブロックの工法を特徴としたものであって、擁壁外構を含めたガーデニング等の構成に、緑化装飾した金網ブロックで種々のお気に入りの緑化空間を生み出すものである。

10

【0010】

緑化装飾する金網ブロックの金網は、縁部は太さにより十分な強度を有するので、特に補強縁とする必要がなく、植生ネットBも補強のための升目枠を必要としないから、工作容易で経費も軽減される。

20

【0011】

柱状ブロック群Eは、円柱は勿論、異径円柱や楕円柱、多角柱等直立柱状の形状を特徴とするもので、ガーデニングの場合は、夫々植生緑化させた上で梁型ブロック群Fの支柱を兼ねて立体化した造形美を現出出来、門柱とすれば、季節の山野草、草花を散らした自然なガーデン門柱ともなる。

【0012】

直線、曲線、平面、曲面を駆使した梁型ブロック群Fは、横置き状態に長箱状のものや様々な湾曲形状の造形ブロックを構成するもので、横置きにランダムに組み合わせてトータルな庭園設計に未知なる夢と幅を持たせることが可能であり、柱状ブロック群Eと立体的に組み合わせるとガーデニングを立体化することが出来る。

30

【0013】

図1は、ガーデニングに於ける柱状ブロック群Eと梁型ブロック群Fの組み合わせの例で、梁型ブロックに植生した季節の緑化植物を立体的にレイアウトしてガーデニングプランにアクセントを持たせることができる。

【0014】

柱状ブロック群Eと梁型ブロック群Fは、単独又は組み合わせで、その緑化造形工作により、庭園のガーデニングを立体的に演出して、より一層深みのある優雅で格調の高い風格をもたせることが出来、又、家屋外構として門柱や囲い塀に構成して植生緑化させ、環境エクステリアをも、植生緑化のいやしの空間とすることが出来る。

40

【0015】

【発明の効果】

本発明によれば、安価な工作が容易で、植物を植生する柱状ブロック群Eと、直線、曲線、平面、曲面を駆使した梁型ブロック群Fのランダムな組み合わせ形状とした造形ブロックを構成することにより、庭園のガーデニングを立体的に造形演出して、より一層深みのある優雅で格調の高い風格をもたせることが出来る効果がある。

【0016】

又、家屋外構としての門柱や囲い塀に構成して植生緑化させ、環境エクステリアを、いやしの空間とすることが出来る効果があり、家屋外観の美化、景観の向上、建築物の保護、

50

省エネの経済効果、騒音や生活環境の保全並に鳥類昆虫類の誘致繁殖効果、更にはストレスを和らげてやすらぎをもたらす植生緑化の自然環境を現出できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の柱状ブロック群 E と梁型ブロック群 F を組み合わせた造形ブロック実施例の斜視図である。

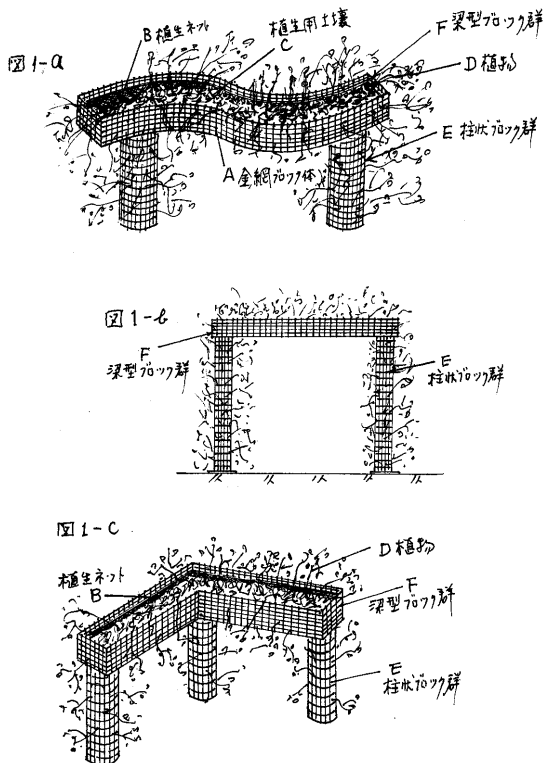
【図 2】 本発明の柱状ブロック群 E の実施例の斜視図である。

【図 3】 本発明の梁型ブロック群 F の実施例の斜視図である。

【符号の説明】

- A 金網ブロック体
- B 植生ネット
- C 植生用土壌
- D 植物

【図 1】



【図 2】

図 2-a

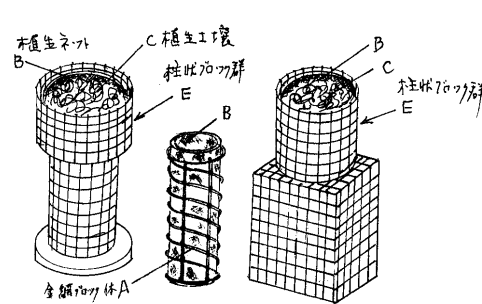


図 2-b

【図 3】

図 3-a

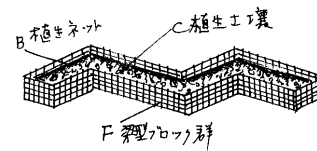


図 3-a

